

平成23年度病害虫発生予報第7号(10月予報)

＜お知らせ＞ 平成23年3月末をもって、北部駐在は閉所となりました。

今月のトピックス

黒斑病 褐斑病 (キク)

学名 : *Septoria chrysanthemella*
Septoria obesa



圃場での発生状況



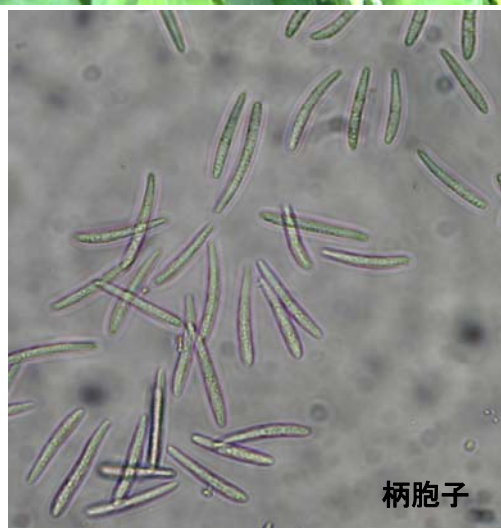
苗床での発生



円形の病斑



不整形な病斑



柄胞子

生態と被害

本病は葉に発生する。最初、下葉に黒褐色の不規則な小斑点ができ、次第に大きくなって互いに結合し、不整形の大きな斑点になる。症状は次第に上位葉へ広がる。病斑上に形成された柄子殻内の柄胞子が風雨によって飛散、伝染する。多湿時や窒素過多の場合に発生が多い。罹病葉や残渣上に形成された柄子殻で生存し、翌年の発生源となる。また、罹病した苗から圃場へ持ち込まれることもある。病原菌の生育適温は20～28℃で、高温、多湿条件で感染が助長される。露地栽培で多く見られる。また品種間で発病差がみられる。病斑は黒斑病、褐斑病とも酷似しており、病徴での区別は困難である。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

平成23年9月30日
沖縄県病害虫防除技術センター